

# 第123期 株主通信

2022年4月1日から2023年3月31日まで

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、当社グループはこのたび第123期の決算を行いましたので、その概況についてご報告申し上げます。

### Q 第123期の業績についてお聞かせください

**A** サプライチェーンの分断や資源価格の高騰、為替の変動など厳しい状況が続くなか、当社グループは、可能な限りのリスク対応を講じると同時に、グループを挙げた品質管理の徹底とコスト低減活動の強化に取り組み、また、収益や成長が見込まれる分野・地域への拡販を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は65,624百万円と前年度比12,109百万円増加となり、また損益面におきましても、営業利益は2,152百万円と前年度比1,616百万円増加、経常利益も2,796百万円と前年度比2,124百万円増加と大幅な増収・増益となりました。当期純損益につきましても、海外子会社のアシモリ・メキシコにおいて固定資産の減損損失690百万円を特別損失に計上し、併せて繰延税金資産421百万円を取り崩しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、1,017百万円と、前年度比507百万円の増益となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、当初の予定通り1株当たり50円とさせていただきます。

### Q 今後の見通しについてお聞かせください

**A** 当社グループでは、“新たな成長軌道への挑戦”として、成長市場である自動車分野と管路更生分野に経営資源を集中してまいります。自動車分野においては豊田合成株式会社との協業を深化させ、シートベルト技術とエアバッグ技術を組み合わせさせたセーフティシステムの開発を推進し、新規顧客の獲得や受注拡大に取り組んでまいります。管路更生分野においては、老朽化した国内インフラの更新が見込まれることから、新工法の開発と下水道分野以外への展開を強化し、需要の拡大に対応してまいります。

次期連結会計年度は「第123～125期 中期経営計画」の2年目となります。収益改善が順調に進捗していることから、当該計画を上回る連結売上高65,000百万円、営業利益2,300百万円、経常利益2,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,500百万円を見込んでおります。また、年間配当金につきましては1株当たり75円を予定しております。

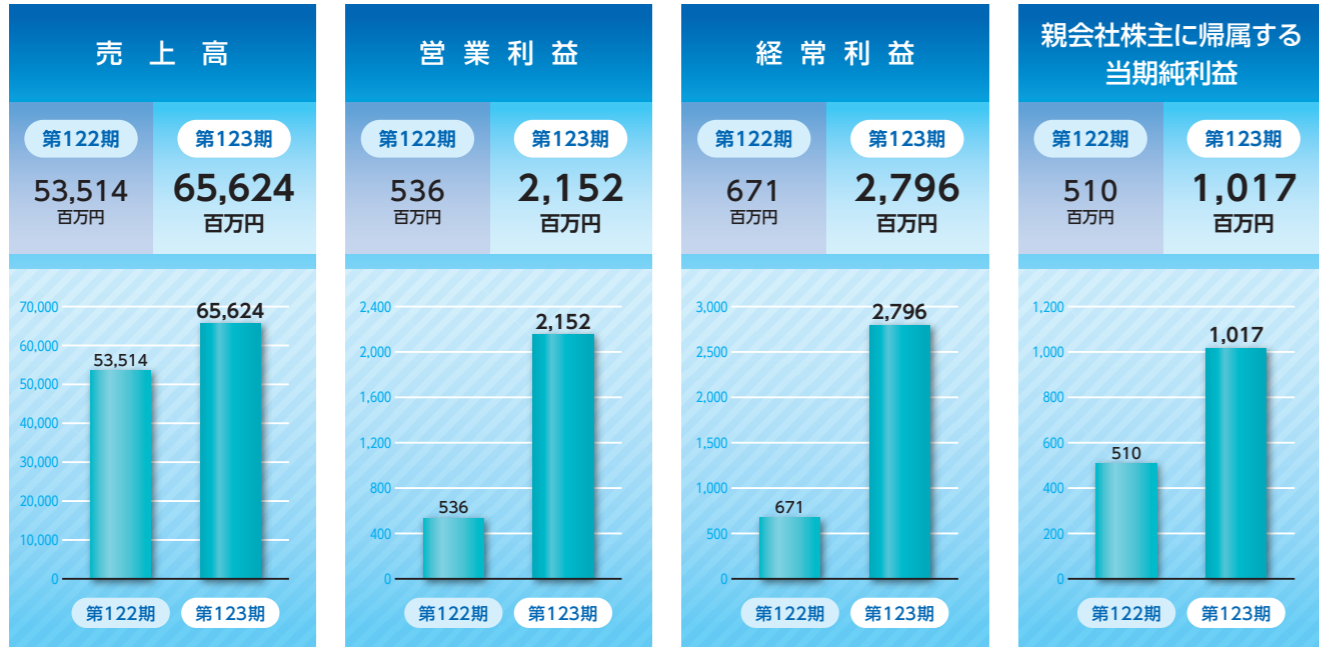
株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 鷲根 成行



## 連結決算ハイライト

※第122期：2021年4月1日から2022年3月31日まで  
 第123期：2022年4月1日から2023年3月31日まで(当連結会計年度)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

## 株式に関する事項 (2023年3月31日現在)

### 株式の総数・株主数

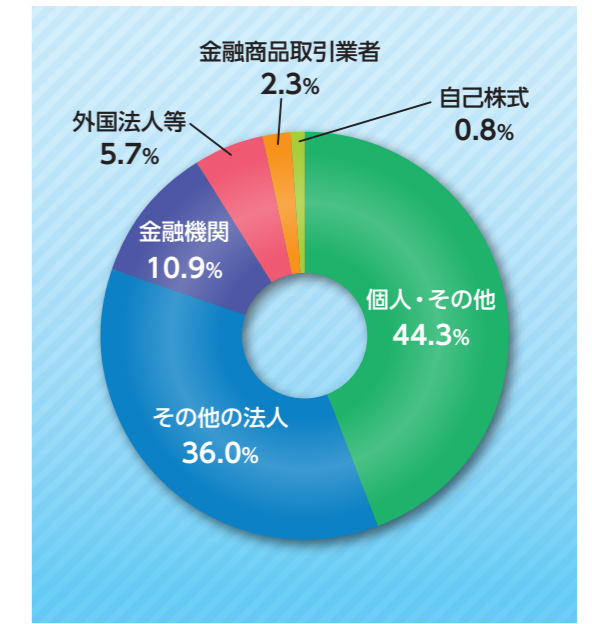
発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
22,000,000株	6,056,939株	5,360名

### 大株主

(注)持株比率は自己株式(50,838株)を控除して計算しております。



### 所有者別株式分布状況



## 事業概況

### 自動車安全部品事業

中国ロックダウンや半導体不足の影響により、自動車生産台数への影響がありました。その後の受注回復と円安効果により、売上高は46,666百万円と前年度比10,948百万円の増収となりました。

損益面は、原材料価格の高騰、物流費の増加の影響がありました。営業利益は583百万円と前年度比1,857百万円の大幅な改善となりました。



#### 事業内容

- 自動車用シートベルト、エアバッグ、ステアリングホイール、内装品などの製造・販売

### 機能製品事業

#### パルテム部門

ライフライン(下水道・上水道・ガス等)の管路更生分野で前年度からの繰越工事が順調に進捗したこともあり、売上・利益ともに大幅に増加しました。

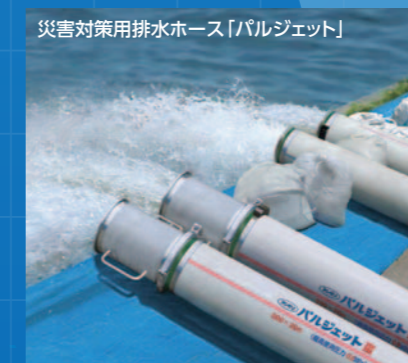
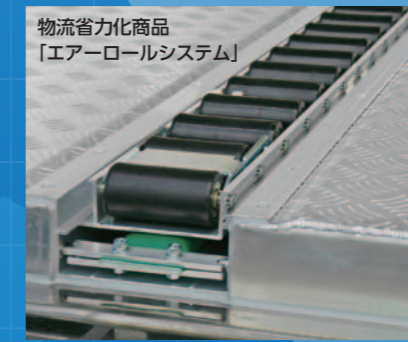
#### 防災部門

防災関連資機材は順調に推移したものの、消防栓用ホース、災害対策用排水ホースは想定を下回り、売上は前年度比ほぼ横這い、利益については減少しました。

#### 産業資材部門

物流省力化分野がトラックの大幅減産の影響を受け低迷し、売上・利益ともに減少しました。

当事業の売上高は18,926百万円と前年度比1,161百万円の増収となりましたが、営業利益につきましては2,207百万円と前年度比61百万円の微減となりました。



#### 事業内容

- 管路更生工法「パルテム」用材料・資機材、土木資材などの製造・販売ならびに管路更生工事
- 消防用ホース、産業土木用ホース、防災関連資機材の製造・販売
- 産業用繊維資材(合繊ロープ・帆布など)、物流省力化システム関連、墜落阻止器具の製造・販売

## 建設現場で活躍中の「パレスシート」

機能製品事業の産業資材部門では、様々な繊維製品と金属をはじめとする機能材料を組み合わせた製品開発を行っており、多様なニーズに応え、幅広い分野で数多くの製品を提供しています。

昨今では、土木資材で取り扱っている軟弱地盤表層処理工法用シート「パレスシート」が地盤環境の保護に有効な工法であることから、需要が拡大しています。2022年までの実績では、各都道府県で20近い現場からの受注があり施工を行いました。

「パレスシート」は、ジャケット・土木シート・パレスシートモルタルからなり、直径10cmの円筒織物を格子状に組んで、この中に専用モルタルを充填することで“かんじき効果”を発揮し、建設工事で使用する大型クレーンの足場を作る土木用資材です。

パレスシートの特長は原地盤の上に直接施工可能なので、地盤を掘削する必要がありません。専用モルタルは円筒織物から漏れないので、地盤環境にやさしい工法です。また、農用地等に施工した場合も、工事終了後は容易に復旧させることが可能です。他工法では困難な水田の地盤改良が行えるため、移動式クレーンの転倒防止対策としても利用されています。



農用地に施工しているパレスシート



パレスシートの上で作業する大型クレーン

## 世界初の大規模シールド工事に 当社のパルテム・フローリング工法が採用

当社グループの芦森エンジニアリング(株)が世界初の挑戦となったH&Vシールド工法によるトンネルのスパイラル掘進プロジェクトに参加しました。

立会川幹線雨水放流管工事は、既設の立会川幹線の雨水の一部を取り込み、立会川流域の浸水被害軽減と立会川および勝島運河の水質改善を目的とするものです。その立会川シールド二次覆工工事を芦森エンジニアリング(株)が清水建設(株)より受注し、当社、機能製品事業のパルテム部門のパルテム・フローリング工法を用いてプロジェクトチームの一員として施工しています。

本工事は、パルテム部門における受注額が過去最大級の工事で、今後のパルテム部門の展開に際し、重要な施工物件となっています。今後もインフラ整備に貢献した活動を行ってまいります。



立会川幹線雨水放流管工事風景

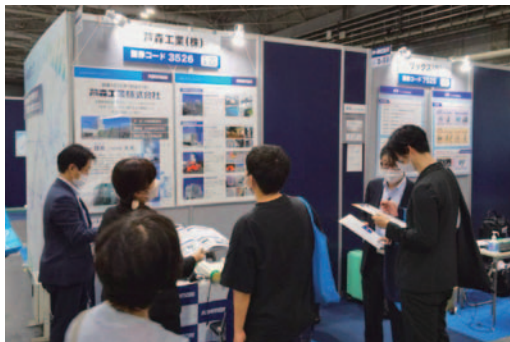
## IR活動について

### 第123期は企業価値向上に向け、各種IR活動に取り組みました

2022年9月にインテックス大阪にて開催されたRX Japan株式会社が主催する「第3回資産運用EXPO関西」のイベント内において、初の試みとして行われた「第1回IR・株式投資EXPO関西」に出展しました。

開催期間内では、社長の鷲根による“創業1878年「つむぐ技術(ちから)、つなげる未来)」と題した40分講演のIRセミナーも実施し、多くの来場者とのコミュニケーションをとることができました。

また、2023年3月には、大和インベスター・リレーションズ株式会社主催で行っている「個人投資家向けオンライン会社説明会」にも参加し、30分のLIVE配信を実施しました。大和IRモニター会員の方々に対して知名度向上につながる活動ができました。



IR・株式投資EXPO関西 当社ブース



IRセミナーの様子

## 「統合レポート 2022」の発行

2022年11月に、当社グループとして初の統合報告書「統合レポート 2022」を発行しました。

本統合レポートは、投資家の皆さまに当社グループの持続可能な社会価値創造と中長期的な企業価値向上に向けた取組みをご理解いただくため、当社グループの概要、トップメッセージ、中期経営計画、価値創造プロセス、マテリアリティ、ESGへの取組みなどを掲載しています。また、財務データのほかに非財務データも掲載するなど、情報開示の充実を図りました。

今後も、当社グループについてご理解を深めていただけるよう、開示内容の充実を図るとともに、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

本統合レポートは当社ホームページ (<https://www.ashimori.co.jp/>) にてご覧いただけます。



## 芦森工業株式会社 ホームページ(コーポレートサイト)のリニューアル

2022年12月に、当社ホームページ(コーポレートサイト)のリニューアルを実施しました。

今回のリニューアルでは、よりわかりやすく・より使いやすいサイトにするため、ページ構成やデザインの変更を実施したほか、「ひと目でわかる芦森工業」と題して、当社グループがひと目でわかる新コンテンツを新設しました。

今後も皆さまに有益な情報提供を行えるようにホームページでの情報発信の拡充を図ってまいります。

※リニューアルにともない、一部ページのURLが変更となっております。「お気に入り」などにご登録されている場合は、恐れ入りますが、新しいページのURLへの登録変更をお願いいたします。

今後も企業価値向上に向けた各種施策に取り組んでまいります

## 会社概要 (2023年6月23日現在)

創業	1878年11月7日	設立	1935年12月27日
資本金	8,388,681,265円	発行済株式総数	6,056,939株
本社・大阪工場	〒566-0001 大阪府摂津市千里丘7丁目11番61号 電話 (06) 6388-1212		
大阪支社	〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4番8号 電話 (06) 6459-6060		
東京支社	〒101-0032 東京都千代田区岩本町2丁目6番9号 佐藤産業ビル 電話 (03) 5823-3040		
篠山工場	〒669-2342 兵庫県丹波篠山市西町40番地2 電話 (079) 552-1177		
福井工場	〒917-0026 福井県小浜市多田2号雲月8番5 電話 (0770) 56-1212		
浜松工場	〒432-8063 浜松市南区小沢渡町26番地 電話 (053) 445-1522		
北海道営業所	〒003-0003 札幌市白石区東札幌3条6丁目1番10号 電話 (011) 598-6922		
東北営業所	〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目11番19号 電話 (022) 265-4530		
中部営業所	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1丁目38番1号 電話 (052) 563-5055		
九州営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目1番29号 電話 (092) 483-0180		
連結対象子会社	芦森エンジニアリング株式会社 オールセーフ株式会社 ジェット商事株式会社 株式会社柴田工業 タカラ産業株式会社 芦森工業山口株式会社 芦森科技(無錫)有限公司 ASHIMORI(Thailand) CO.,LTD. Ashimori India Private LTD. ASHIMORI KOREA CO.,LTD. ASHIMORI INDUSTRIA de MEXICO, S.A. de C.V. Ashimori Europe GmbH		

## 役員

取締役社長・社長執行役員	鷲根 成行	常勤監査役	櫻木 弘行
取締役・常務執行役員	榎本 太司	監査役	大石 賀美
取締役・常務執行役員	鳥山 秀一	監査役	森川 光洋
取締役・常務執行役員	永富 薫	執行役員	山口 義孝
取締役・執行役員	伊藤 和良	執行役員	東 克彦
社外取締役	関岡 英明	執行役員	稲川 泰博
社外取締役	清水 春生	執行役員	松永 光行
社外取締役	岡田 靖	執行役員	安田 繁二
社外取締役	小川 尚	執行役員	東 康太郎
		執行役員	小山 昭則

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金受領株主確定日	期末配当金の基準日 3月31日 中間配当金の基準日 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日とします。 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告し、基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社インターネットホームページアドレス <a href="https://www.ashimori.co.jp/">https://www.ashimori.co.jp/</a>
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話無料) 0120-094-777
株式上場市場	東京証券取引所 プライム市場

## 単元未満株式の買取・買増制度のご案内

### ①単元未満株式の買取・買増制度の概要

#### 買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取するよう請求できる制度です。  
(例) 当社株式を30株ご所有の場合、その30株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。

#### 買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元(100株)の株式にするために必要な数の株式を買増することを当社に請求できる制度です。

(例) 当社株式を30株ご所有の場合、70株を市場価格で当社から購入し、100株にする。

### ②お手続きの方法

単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、ご注意ください。

#### ◎証券会社の口座に記録されている単元未満株式

お取引口座のある口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

#### ◎特別口座に記録されている単元未満株式

三菱UFJ信託銀行(株)(特別口座の口座管理機関)にお問い合わせください。

※特別口座とは、株券電子化実施日において「(株)証券保管振替機構(ほふり)」をご利用でない株主さま(例:株券をご自宅や貸金庫に保管されている方)の権利を確保するために、当社が当該株主さまの名義で開設した口座です。

### ③手数料

単元未満株式が記録されている口座	当社に対する手数料	口座管理機関に対する手数料
証券会社の口座	無料	お取引口座のある証券会社等にお問い合わせください。
特別口座		無料

### ④ご注意事項

- 買取価格および買増価格は、当該請求が当社の株主名簿管理人の事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格に当該請求株式数を乗じた額となります。
- 買取請求および買増請求をされた後の取り消しはできません。
- 決算期の基準日直前など、請求の受付を停止する期間があります。
- 買増制度を利用し単元株式に整理されても、特別口座のままでは市場での売却はできません。証券会社の口座にお振替えいただくことが必要となります。

この案内は、単元未満株式の買取請求または買増請求を強制するものではありません。請求に際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。なお、本状と行き違いにご請求済みの場合は、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

### ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。